

# 日本ゲシュタルト療法学会 2023 ワークショップ大会 プログラム

## 1月7日（土）

	ファシリテーター	テーマ	内容
1月7日 （土） 13:00 - 13:15	三井洋子	開会式	開会にあたって3日間の内容の説明をします
1月7日 （土） 13:15 - 15:30	百武正嗣	「変容の逆説的理論」について学ぶ	ゲシュタルトセラピーの柱の一つに変容の逆説的理論があります。アーノルド・バイサーが書いた短い論文ですが、フリッツ・パールズはこれを最も重要な考え方としてとらえていたのは広く知られているところです。しかし、アーノルド・バイサーという人がどんな人だったのか、どんなことがきっかけでこの“理論”を打ち立てたのかについては、あまり知られていません。今回、「翼なき飛翔 アーノルド・バイサーの生涯」という映画の日本語版が出来上がりました。この試写会を行います。動画鑑賞後、グループに分かれて、本当の「変容の逆説的理論」について理解を深めていきます。

<p>1 月 7 日 (土) 16:00 - 18:30</p>	<p>ジョン・レアリー =ジョイス</p>	<p>ゲシュタルトセラピー/ コーチングのエッセンス-禅</p> <p>Essence of Gestalt Therapy/Coaching with Zen Flavour</p>	<p>ゲシュタルトカウンセラーの経験をもつジョン・レアリー=ジョイスは、アカデミ ー・オブ・エグゼクティブ・コーチング(AoEC)を創設し、「場の理論」のマルコム・ パーレット博士（2020年学会で基調講演）や、コーチングのスーパービジョンモデル 提唱の世界的権威、ピーター・ホーキンス博士らとイギリス、ヨーロッパのゲシュタ ルト普及に貢献してきました。フリッツ亡き後のアメリカでは、考え方や手法の違い からコンテンポラリーゲシュタルトを含む複数の”流派”が生まれました。しかし、そ の影響を受けなかったイギリスは伝統的なスタイルを基調とするゲシュタルトが継続 してきました。ジョンのスーパービジョンでは、理論と実践-何をするか（しない か）が明確に示され、チェアワークやイメージワークなど積極的に”実験”を行う伝統 的なスタイルのゲシュタルトが実践されます。自著「Fertile Void: Gestalt Coaching at Work」の”Fertile Void”とは”肥沃な何もない空間”-何も無いがすべてがそこから生 まれる場-を意味し、「変容の逆説的理論」に通じるゲシュタルトサイクルの”気づき が発現する一瞬前の「何もない時間と何もない空間」が大切にされることを表してい ます。これこそがゲシュタルトの一つの柱であるところの禅的アプローチです。テク ニックが及ばない時間と空間をどう考え、どう扱うのか、アメリカとは異なる伝統的 なブリティッシュスタイルのゲシュタルトをじっくりと学んでいきましょう。</p>
--	---------------------------	--	--

## 1月8日(日)

	ファシリテーター	テーマ	内容
1月8日 (日) 9:30 - 12:00	百武正嗣	ソマティックゲシュタルト (身体性のアプローチ)	「からだ」に問いかけるゲシュタルト療法の哲学的な意味とはなにか。また哺乳類に進化したヒトの発生学的な神経系のメカニズムからも問いかけの意味がある。赤ちゃんの発達からアプローチするフェルデンクライスはどのように触れるか、どのように「動く」のかを通じての気づきを学ぶ。
1月8日 (日) 9:30 - 16:00	渡辺トヨ子・田中千恵子	ゲシュタルト療法とトラウマケア	トラウマ療法はソマテック・エクスペリエンシング療法とも呼ばれます。トラウマは一生終わることのない苦しみではありません。脅威に対し過剰に活性化した自律神経系の生理現象で病気ではなく、安らぎのない状態です。午前中はトラウマの発生機序、症状、セッションの主要な説明、午後は個人セッションをいたします。ゲシュタルト療法・東京の田中千恵子とGNJの渡辺トヨ子のコラボレーションで行います。参加条件：一日通しでの参加、18名限定(当日9:00から会場先着順)
1月8日 (日) 9:30 - 12:00	藤原勝	ゲシュタルト・オンライン・エクササイズで気づきを深める	この2年半オンラインでのワークショップが増えたと思いますが、クリーブランド・ゲシュタルト研究所、エサレン研究所、TA研究部会などで学び、応用したエクササイズをご紹介します。  自分の生き方に気づき、希望をもって生きることができるでしょう。ゲシュタルトのワークショップで気づきを深めることに役立つのはもちろんのこと、ゲシュタルトの知識が全くない方が集まる企業研修でも使える内容です。

1 月 8 日 (日) 9:30 - 12:00	室城隆之	自分を語ろう！人生を語ろう！	皆さんは、自分のことを語ることがありますか？ 忙しい毎日の中で、つい自分のことをおろそかにしていませんか？ このワークショップでは、参加者に自分のこと、自分の人生を語る時間を提供します。自分のこと、自分の人生をただ語り、それを皆に聞いてもらう時間です。 それによって何が起きるのでしょうか？ 関心のある方のご参加をお待ちしています。
1 月 8 日 (日) 9:30 - 12:00	野妻裕美	ゲシュタルト療法ワークをグループで体験する意味	ゲシュタルト療法は、場の力を大切にします。人はそれぞれに独自の背景、感覚をもったユニークな存在です。ファシリテーターもワーカーも、そして場を共有するメンバーも出会い、コンタクトによって気づきが生まれます。この時間ここで出会った仲間と共に感覚、感情、気づきのプロセスを体験していくこと、そこで起きる気づきが自分にとって場にとって、どのような意味を持つのか？一緒に探求していく場になればと思います。
1 月 8 日 (日) 13:30 - 16:00	山本誠司	気づきのワークショップ～ゲシュタルト療法の基本を学ぼう～	ゲシュタルト療法とはどんな心理療法でしょうか？ 一言で言うならばそれは、”今ここでの気づき”です。 とてもシンプルであり、そして、私達の日常にとっても必要なことです。気づくことは、自分の意思による選択を可能にします。気づくことだけで自分の人生を自分の責任で選択できるようになります。しかし、私達は気づきを意識することなく生活しています。このワークショップでは、そんなゲシュタルト療法の基本を体験したいと思います。

<p>1 月 8 日 (日) 13:30 - 16:00</p>	<p>河村葉子</p>	<p>今を生きるためのゲシュタルト・ワーク</p>	<p>“「気づき」「コンタクト」「現在」はひとつのことの違った側面である”と F・パー ルズは言いました。 ゲシュタルトセラピーで「今-ここ」は大切なキーワードです。 私たちは、どんな時に、どのように「今-ここ」を失うのでしょうか。シンプルで奥深 いゲシュタルトの基本を大事にしながら、急がず慌てず、自分のための時間を過ごし ませんか。 困難な時にも十全に生きる力を育むワークの場を、ご一緒に探究したいと思います。</p>
<p>1 月 8 日 (日) 13:30 - 16:00</p>	<p>平松みどり</p>	<p>ゲシュタルト理論の哲学を 活かした療法を</p>	<p>今、ここ」現在性(presentness)を大切にする。今のみが実在する。 言葉は、できるだけ第一人称で現在形で表現する。 相手の存在を、あるがままに尊重すると同じ様にファシリテーター自身も「今ここ で」の自分を自己一致しておく。解釈、想像をやめて、目の前の事に焦点を当てる。 地から図に上ってきたものにコンタクトする。 この体験をご一緒しましょう。</p>
<p>1 月 8 日 (日) 13:30 - 16:00</p>	<p>白坂和美</p>	<p>プレイバックシアター (即 興劇)</p>	<p>プレイバックシアターとは、台本のない即興劇です。あなたから語られた言葉たちが 役者に届き、打合せ無しで再現 (プレイバック) されます。子どもの頃の『おままご と』や『怪獣ごっこ』のように自然と仲間と息をあわせ、語り手の物語が始まりま す。日常の何気ない出来事や、大切な思い出が世界に一つしかない物語となり、モノ トーンから彩り豊かな空間となります。誰もがアクターであり、誰もが語り手です。 涙あり、笑いあり、怒りあり、子どものように無邪気に遊び心を発揮して楽しみまし ょう。</p>

<p>1 月 8 日 (日) 16:15 - 17:00</p>	<p>リヴ・エストラップ</p>	<p>メイキングオブ『翼なき飛翔』</p>	<p>この映画の製作者であるリヴ・エストラップが、アーノルド・バイサーや周りの人々の思い出を語ります。フリッツ・パールズや、そして最近亡くなった日本のゲシュタルトの大恩人であるロバート・レズニク、、、ゲシュタルトを創ってきた様々な人たちとの出会いと別れ。</p>
<p>1 月 8 日 (日) 17:00 - 17:45</p>	<p>ルームホスト (各理事)</p>	<p>プロセスグループ</p>	<p>ブレイクアウトルームに分かれて、それぞれのグループで今日私に起こったこと、気づいたこと、について話し合います。</p>

## 1月9日（祝）

	ファシリテーター	テーマ	内容
1月9日 （祝） 9:30 - 12:00	青柳至貞	セッションの構造を理解する	<p>ゲシュタルトのセッションを学ぶのは、体系化されていないので、見て、経験を積んで覚えることが基本になります。しかし、共に学んでいる仲間から、セッション中に何が起きて、クライアントにどんな変化があるのか？がわからないということを行います。このワークショップはセッションの構造を明らかにしようとする試みの簡易版です。</p> <p>①セッションの基本姿勢②セッションとは？③傾聴で終わらせないために④ゲシュタルトの4つの基本質問⑤セッションの基本的な進め方</p> <p>今までのゲシュタルトの講座ではあまり触れられていない構造を理解することにより、セッションの再現性を高めて、ムリ、ムダ、ムラのないセッションができるようにまとめたものです。</p>
1月9日 （祝） 9:30 - 12:00	岡本綾子・岡本太郎・中山史	日本のゲシュタルトの未来、そして僕らは・・・	<p>いまわたしたちが直面しつつある世代交代の波。</p> <p>ゲシュタルトの恩恵を受ける立場から、伝える立場になってしまっていることに気づきます。</p> <p>そこはかたない不安、寄りかかっていたものがなくなっていく予感の中で、腹が決まらないわたしたち。</p> <p>「日本のゲシュタルトの未来、そして僕らは・・・」それぞれの思いを共有することで、なにかを見いだせるでしょうか。</p> <p>このダイアログは、ゲシュタルトの場を提供した経験がある方同士での語り合いの場にしたいと思います。ご参加お待ちしております。</p>

<p>1 月 9 日 (祝) 9:30 - 12:00</p>	<p>岡田雅子</p>	<p>マインドフルネス瞑想とヨガとゲシュタルト～「ととのう」こことからだ～</p>	<p>いまここの自分を評価も判断もすることなく、ただありのままに感じていくことで、湧きあがってくる気づき。 これは、マインドフルネスの瞑想やヨガ、ゲシュタルトワークにも共通するものです。ゆっくりと呼吸して、体を感じ、気づきに触れて、ここもからだも「ととのう」時間になれば幸いです。</p>
<p>1 月 9 日 (祝) 9:30 - 12:00</p>	<p>山本直</p>	<p>静かな対話</p>	<p>クライアントへの「実験の提案」などは、時としてファシリテーターのしたいワークの押しつけになる場合があります。クライアント自身が自分の持っているレジリエンス (resilience) を自然に待つことを大切にして、「上手い」ワークより「安全」なワークを目標としています。「active」ではなく「静か」 (gentle) なので、見ていてつまらないかも知れないですが、「今、ここ」で起きる事柄を楽しみにしています。</p>
<p>1 月 9 日 (祝) 9:30 - 12:00</p>	<p>三上道代・檀野武美</p>	<p>リピーティング・クエッション</p>	<p>自分が選んだ質問を繰り返し問いかけられ、一瞬一瞬の浮かんできたことを答えます。 初めは思考で答えています、次第にネタが尽き、そこからがワークの真の目的です。 直感を信頼して、自己の内面を掘り下げ、感情とともに表現する段階にいたりします。 聞き手は、話し手を誘導しないように、なるべく反応をひかえて傾聴します。その結果、話し手は深く内省し「思ってもみない」ことを語りだし深い気づきが起こるといいうワークです。</p>

1 月 9 日 (祝) 9:30 - 12:00	トレーニングコース (アドバンス) 修了者	ファシリテーター甲子園	クライアントはトレーニングコース修了または、トレーニングコース参加中の方に限ります。 トレーニングは修了したけれど、切磋琢磨の場が欲しいという方のための場です。スーパーバイザーはいませんので、お互いが「今ここ」での気づきをシェアしつつ何かをつかみ取りましょう。
1 月 9 日 (祝) 13:30 - 15:30	臨床部会 (久松睦典)	臨床現場でのゲシュタルト療法	医療や教育、福祉、産業、司法などの分野で臨床実践を行なっている皆さん、ゲシュタルト療法の思想や技法をどう活かしているのか、どんな難しさや工夫があるのかといったことについて対話してみましょう。
1 月 9 日 (祝) 13:30 - 15:30	組織開発・人事部会 (陣内裕輔)	ゲシュタルトの応用－グループ/コミュニケーション/リーダーシップ/コンフリクトマネジメント	欧米ではゲシュタルトは組織やその中の一人ひとりの課題に対しても大いに活用されています。カウンセリングとして1対1あるいはグループで使われている理論は、組織やその中の一人ひとりにそのまま適用できるものもあれば、実践や手法は対象の性質や課題によって大きく異なるものもあります。ゲシュタルト組織開発やゲシュタルトコーチングという概念は以前からあったものの日本ではほとんど実践されてきませんでした。現代の組織マネジメントや人事、あるいは企業や団体の経営に対して、ゲシュタルトをどう応用していけばいいのか。この方面へのゲシュタルトをどう活用していけばいいのか、JAGTの部会の一つとして一緒に考え活動していきませんか？
1 月 9 日 (祝) 13:30 - 15:30	子育て・教育部会 (藤木結・鈴木明美)	「子どもと関わる中であなたに今何がおきていますか？」	子ども達と関わりたくさんの感情になりますよね。そんな時に、ゲシュタルト療法がどのように役にたったのでしょうか。皆さんのその経験や気づき、そして、今抱えているものを対話して、学びや気づきを更に深めていきましょう。子どもと関わる中であなたに今何がおきていますか？－子ども達と関わりたくさんの感情になりますよね。そんな時に、ゲシュタルト療法がどのように役にたったのでしょうか。皆さんのその経験や気づき、そして、今抱えているものを対話して、学びや気づきを更に深めていきましょう。

<p>1 月 9 日 (祝) 13:30 - 15:30</p>	<p>社会活動部会 (三井洋子)</p>	<p>可能性を探そう</p>	<p>ワークショップやセラピーという看板を出しているわけではないけれど、参加する活動や仕事の中で、自分が学んだゲシュタルト的な生き方を活かしている人たちがいます。</p> <p>自殺予防、在宅療養・在宅介護、ボランティア活動等、個人・グループ等様々な活動の中で展開され、周りに影響しているように思います。</p> <p>情報を共有して、ご自身の活動への活かし方や可能性を一緒に考えてみませんか？</p>
<p>1 月 9 日 (祝) 13:30 - 15:30</p>	<p>ファシリテーター育成委員会 (山本誠司)</p>	<p>ファシリテーター育成委員会</p>	<p>ゲシュタルト療法のファシリテーターにはどのような"トレーニングコース"や"練習の機会"があると良いでしょうか？</p> <p>私達の委員会は、ファシリテーターの育成とトレーニングコースの在り方について話し合っています。</p> <p>今回は、皆さんと一緒に今後のファシリテーター育成についてフリーディスカッションの場をご用意しました♪</p> <p><b>【参加条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①当学会員であること</li> <li>②ゲシュタルト療法ファシリテーターを目指す方</li> <li>③ゲシュタルト療法に対する愛と情熱をお持ちの方</li> </ul>
<p>1 月 9 日 (祝) 15:45 - 16:15</p>	<p>ピーター・コール (野妻裕美)</p>	<p>ゲシュタルト・グループ・セラピー ビデオメッセージ</p>	<p>2023年7月の学術大会に、Peter Cole を招待しキーノートスピーチとワークショップの開催を計画しています。ピーターはゲシュタルト・グループ・セラピーといったアプローチを奥様のデイジーとともに30年にわたり実践し、ホットシート形式とはひと味違うアプローチのワークショップ形式の理論的研究と実践を続けてこられました。夏にはデイジーも一緒に来日して、二人が同時に一つのグループにかかわるファシリテートのワークショップが体験できます。今回、ピーターとデイジーがビデオメッセージで皆さんにご挨拶します。</p>

1 月 9 日 (祝) 16:15 - 16:45	ルームホスト (各理事)	プロセスグループ	ブレイクアウトルームに分かれて、それぞれのグループで今日私に起こったこと、気づいたこと、について話し合います。
---------------------------------	-----------------	----------	---